



『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄(かんだひろえい)議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117
Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp
ホームページ <http://www5e.biglobe.ne.jp/~hiroei/>

忠言耳に逆らう・雨垂(あまだ)れ石を穿(うが)つ

- 【忠言耳に逆らう】◇忠言のことばはとかく耳に痛いものだが、役にたつもの。
・「忠言」は忠告のことば。「良薬は口に苦し」と同じ意味。
- 【雨垂れ石を穿つ】◇微力であっても、根気よく続ければ大きな成果があがる。
・石に落ち続ける雨垂れが、長い間には石に穴をあけてしまうことから。

11月10日に平成17年度の決算特別委員会の委員として、すべての決算を承認しました。現在は、平成18年第4回定例会(12月議会)が11月27日より12月18日までの会期で開催されています。私は初めて会派を代表して議案質問(12月1日)と、一般質問(12月7日)を行い2回登壇します。ご期待ください。インターネットでも生と録画でご覧いただけます。今回は、決算委員会の質問の一つと9月議会の質問を掲載します。

① 有価物・資源ごみの回収費について

平成17年度決算で、市は有価物回収業者の経営安定化を図るために、助成金として1億3789万円余りを交付していました。

毎週1回、新聞紙・ビン・空き缶等を回収している業者の組合への助成金です。10年程前にPTAや子供会が行っていた有価物回収を地区町会連合会等を主体として一元化した際に、古紙(新聞紙)等の相場が下がった時に、業者の経営安定のために助成しようというものでした。



決算特別委員会で担当課に質問したところ、ここ何年も助成金を交付しているとのことでした。しかも、相場は下がってはいない状況であってです。財政健全化でこんなものまで削減するのか、ということが多い中で、当初の決めごとと相違して、価格が安定している現状でも組合に助成金を交付するとは「甘やかし過ぎではないのか」と厳しい口調で問いたしましたが、のらりくらの回答でした。

『忠言耳に逆らう』です。今後も厳しい目で見ていきます。

② 北部清掃工場について

北部清掃工場にゴミを持ち込んだことのある方は理解して戴けると思

ますが、まず奥の受付で申請書を書いて、入り口近くの台貫所へ車を戻して計量し、処理施設へ行ってゴミを降ろし、また台貫所に戻って計量して計算書をもらい、それを持って受付した所で現金で精算します。



右往左往して無駄が非常に多く感じられます。もう少し流線的で無駄の無いようにできないか、質問しました。

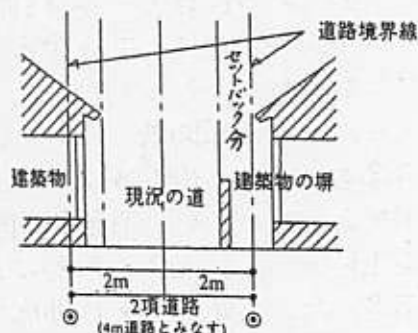
次に、この北部清掃工場に持ち込む粗大ごみの「家庭ごみ」と「事業系ごみ」について質問しました。10kg当たりの「家庭ごみ」は150円、「事業系ごみ」は170円です。どこから見ても「事業系関係者」と見受けられる人が「これは家庭ごみだ」と受付に来ると「違うのではないですか」と一応尋ねるようですが、聞く人も聞かれる人も決して気持ちがいいものではありません。そこで「家庭ごみ」に関してのみ、何らかの証明書を町会を通じて発行できないか、聞きました。

— 環境部長の答弁 —

平成14年10月から粗大ごみの有料化に伴い、市民の方が持ち込むごみの量が増加していることから、場内の交通渋滞や処理に時間がかかるとの指摘がある。現在、管理棟前の敷地に計量と処理を一度に行える処理設備を増設工事中である。指摘された処理動線の見直しについては、増設した後の状況を見極めながら必要に応じて検討していく。次の質問の証明書の発行は難しい。

③ 狭隘（きょうあい）道路問題の長期的解決と私道の一部寄付について

船橋市の道路事情の悪さは天下一品です。これは以前にも触れましたが、4m未満の道路に接した土地に新築する場合は、セットバックしなければなりません。建物が完成するとセットバックをしない人がいるために、道路が広がらないからです。建築確認書の図面にはきちんと明示していても実行しない人が多いのです。



私は、建築確認書の申請時にセットバック分の道路使用承諾書を添付させ、道路部と連携を図り直ちに舗装処理してしまうことを提案しました。

また、市道と市道につながる4m以上の私道で、市の寄付基準を満たした道路で、所有者が寄付したいと言った場合、道路所有者全員が一括してでなければ受け取らない等と言わないで、一人でもいいから寄付を受けてはどうか、伺いました。『雨垂れ石を穿つ』ように一歩ずつでも狭隘道路の解消につながると思います。

— 道路部長の答弁 —

いろいろ難しいことがあるが、前向きに検討していく。